

孫林堂

一編

天保九年
孫林堂
孫林堂
孫林堂

13
3840
2





あまのこ
深川
口
果
作

錦
林

淺野氏

門〜13
3840

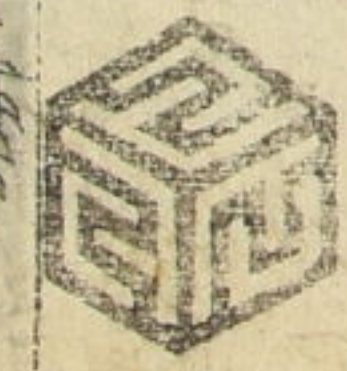


一

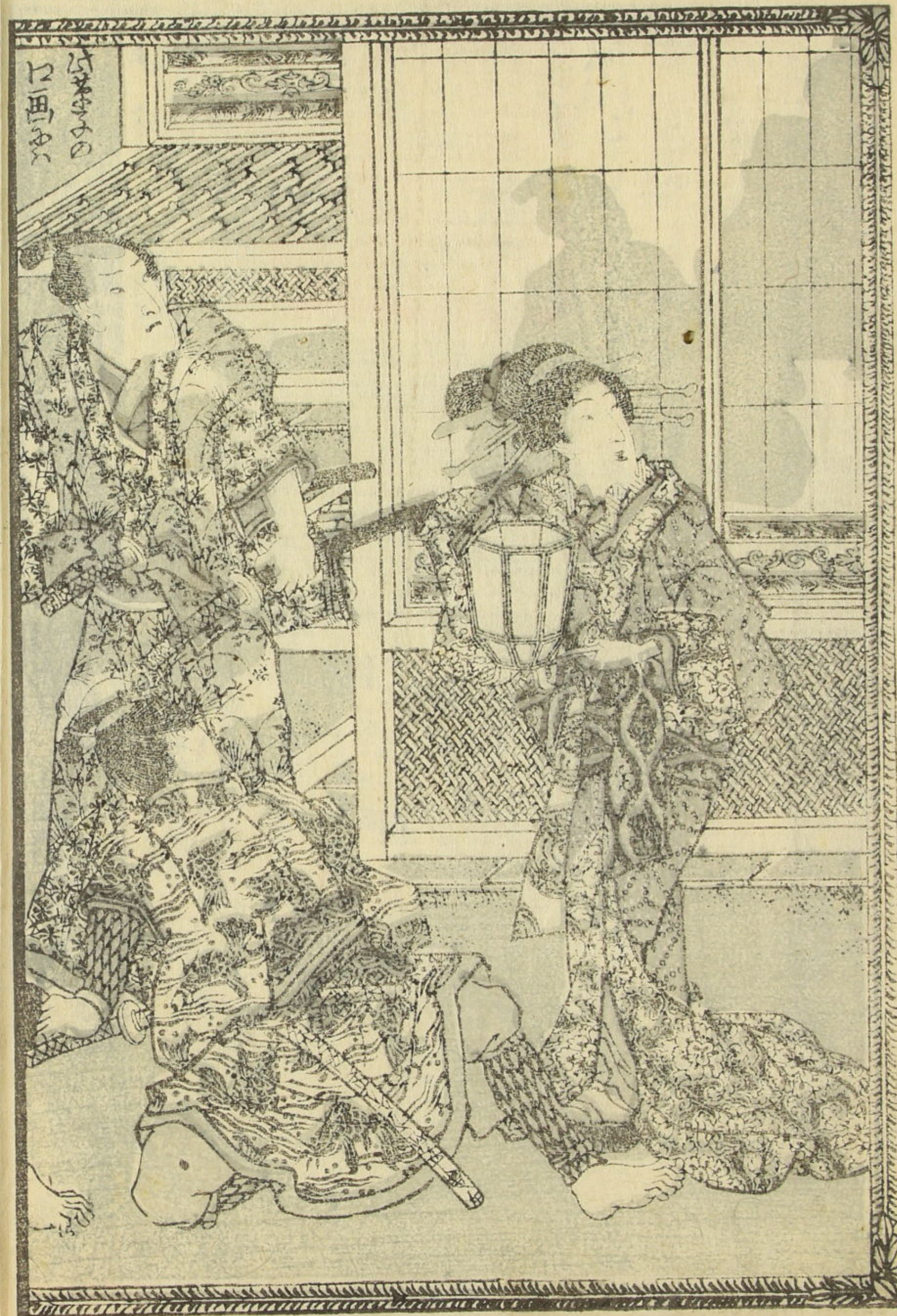
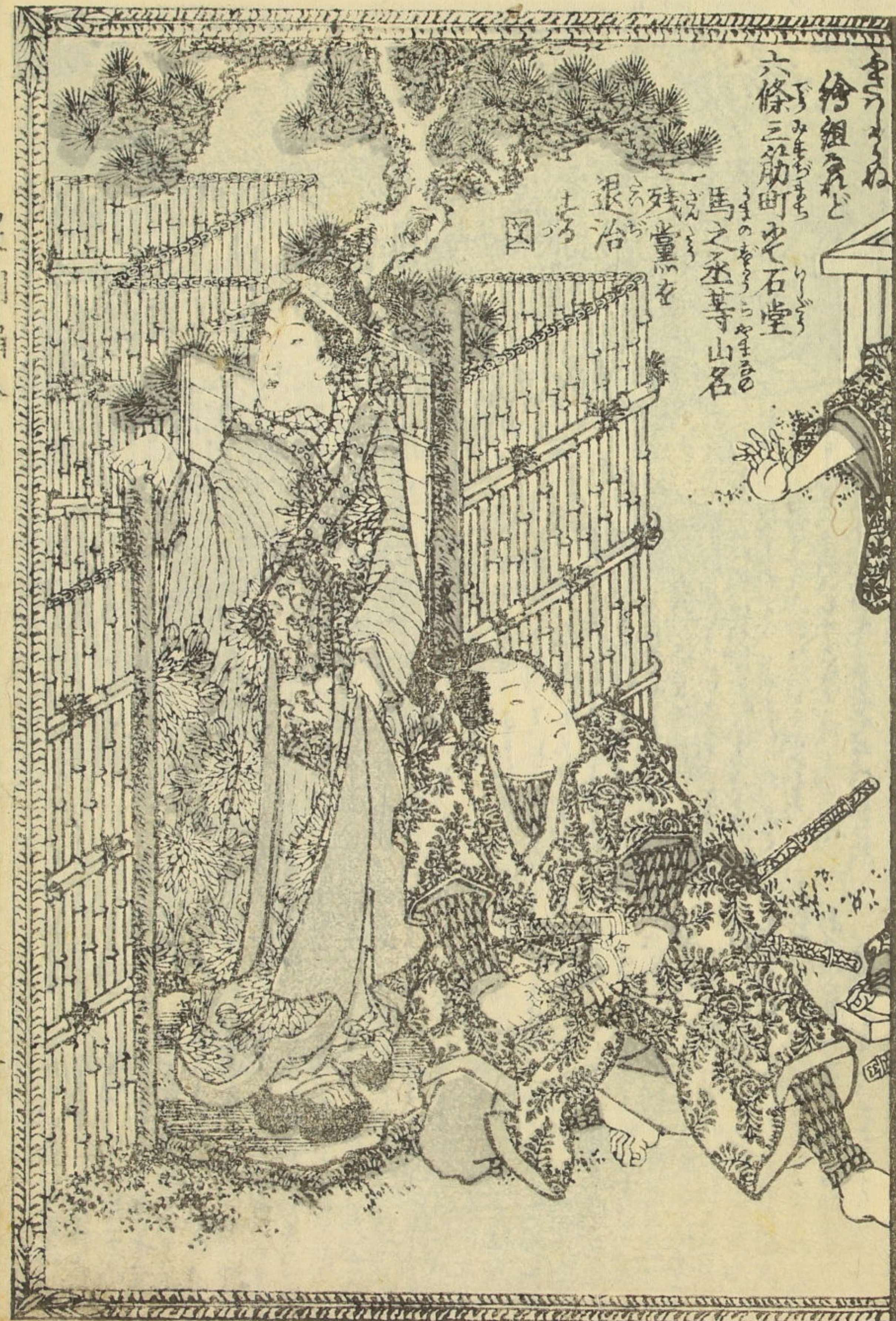
画や彫物の竜の威勢がよとて華靡るとて愛説されど真竜が出てはたまたま鯨波も矢
 叫も講釋の場ごとく聴るれ源氏も本のぞ見時の命得と野が世界が別て衣冠
 束帯非作の可なり牌をひろけ小腰小誰とも知巴合せ義大夫や新内へ出る近付る
 若草や猪之助の語もさうそそれぞわねど今世のあしく細路
 手拭も有前致やら名物列衣手看板書も上代様外題のつがも陸奥紙壺の碑書
 及せ越向とて是利絹小五衣と透立の似て非るおが流行ると見え先師の案の
 的の外まの柱樹か村の揚弓の扇小秋の風たを画ける藤の花房の長く栄えて此の
 の曲長のわらわの事を接穂の身生半の作者師匠同様取立又此編も臘月夜乃
 面影のりてこそあつ唯かゝるの氏元と髪善の毛さの割つてさるくても知るるさ
 ころえふ皆とてさるけと希ふるむ

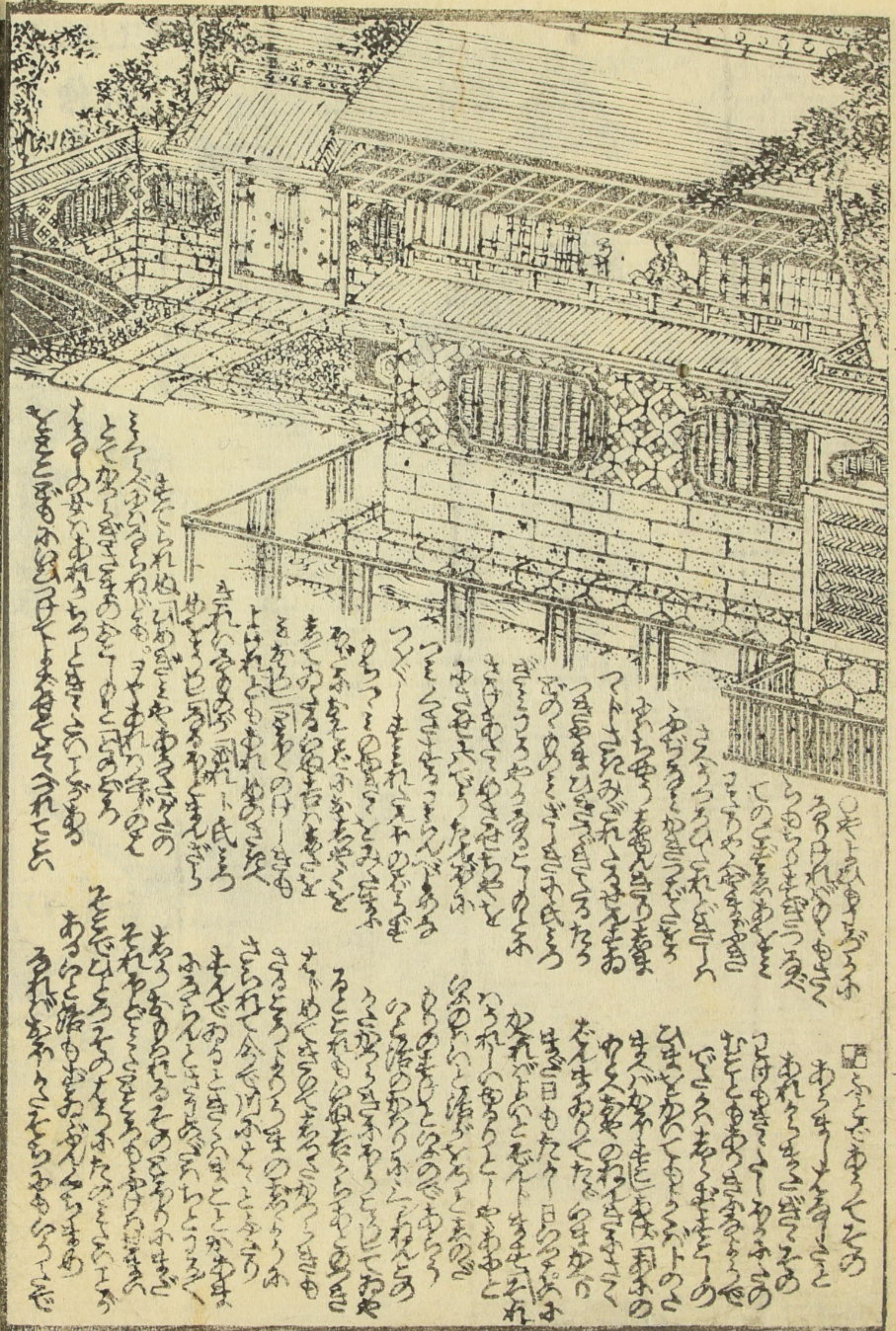
辛亥孟春

笠立亭仙果



正元月

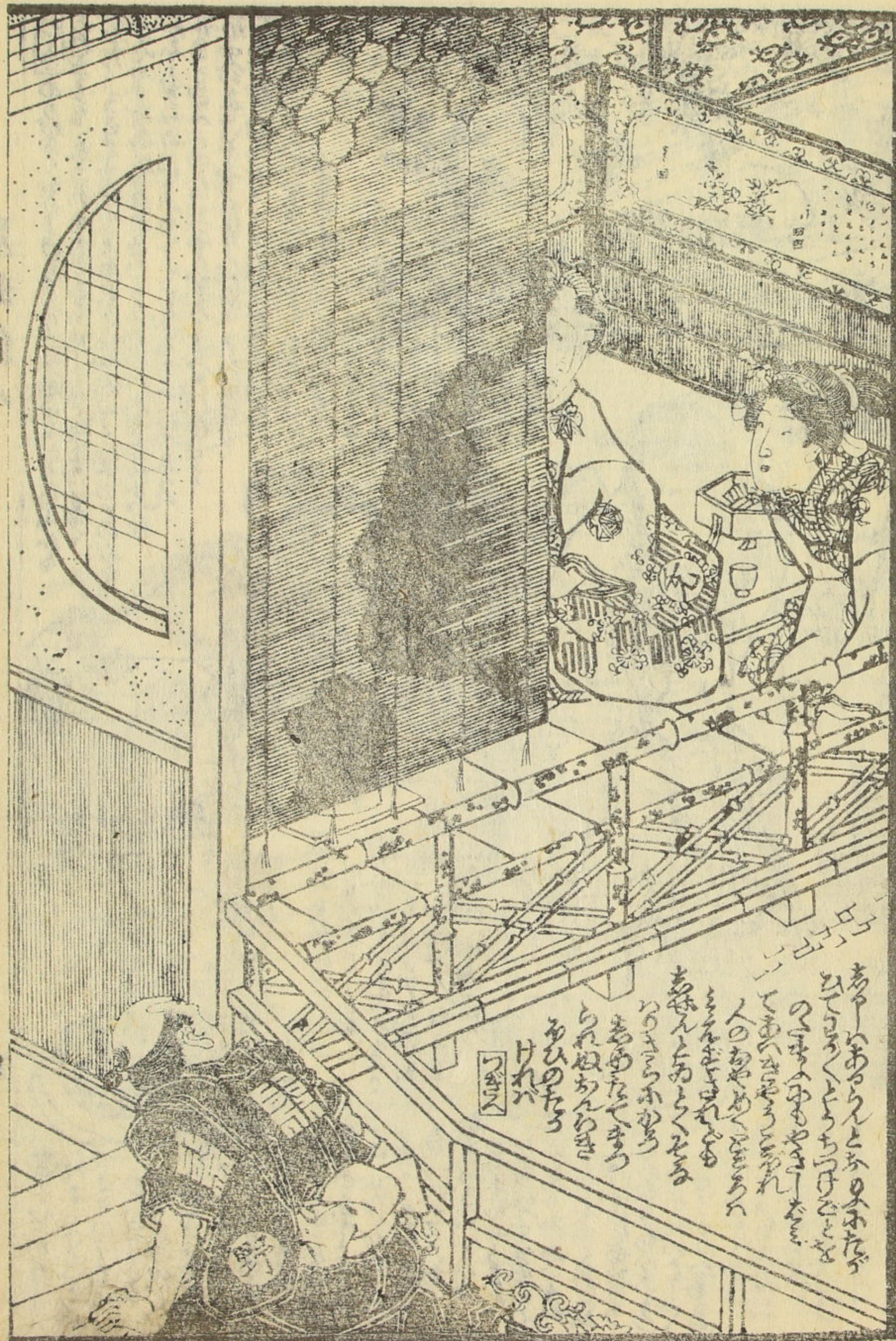




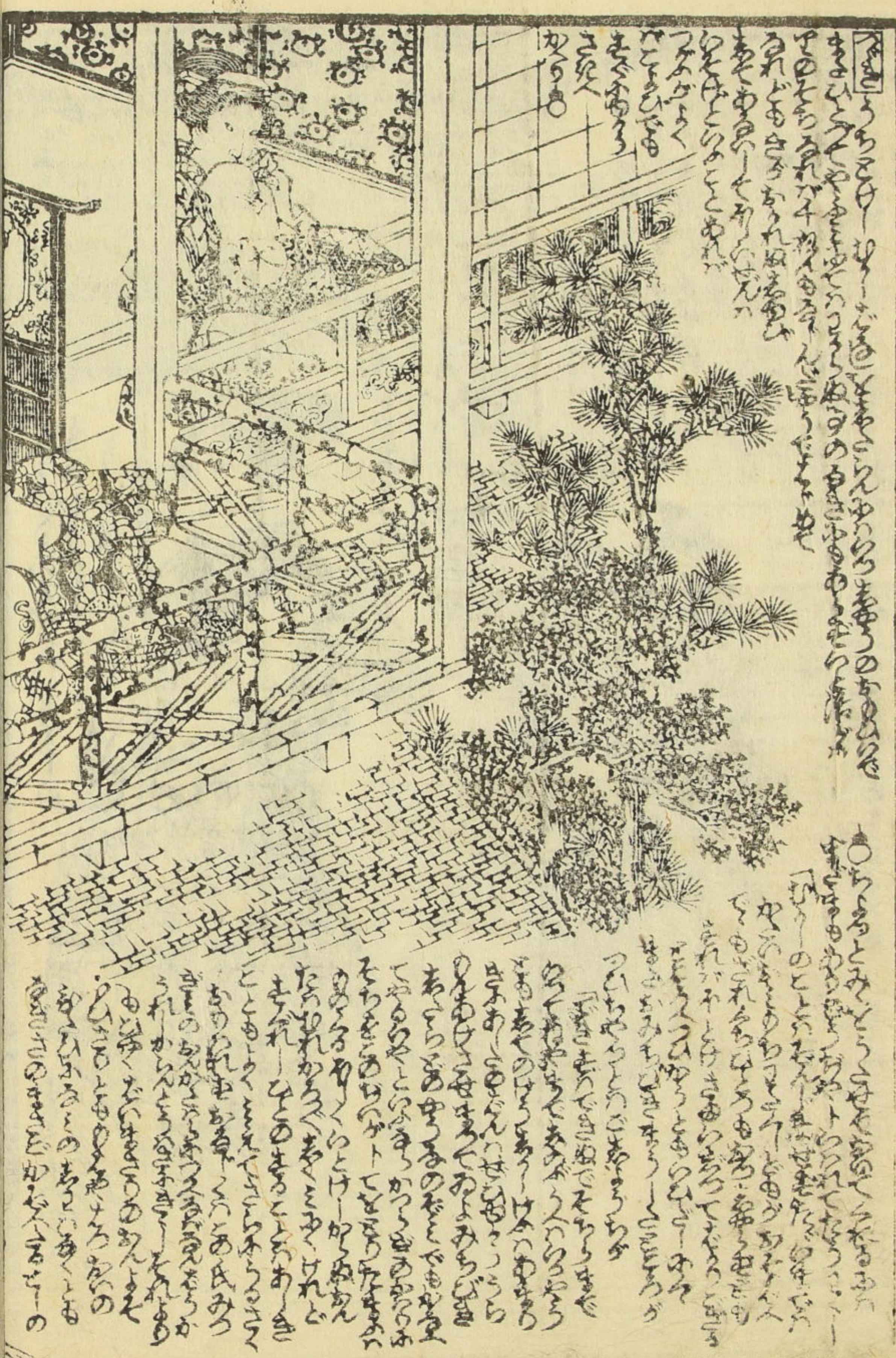
Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of items related to the architectural scene. The text is arranged in vertical columns, following the orientation of the illustration.



Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of items related to the figures. The text is arranged in vertical columns, following the orientation of the illustration.



あつちのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな

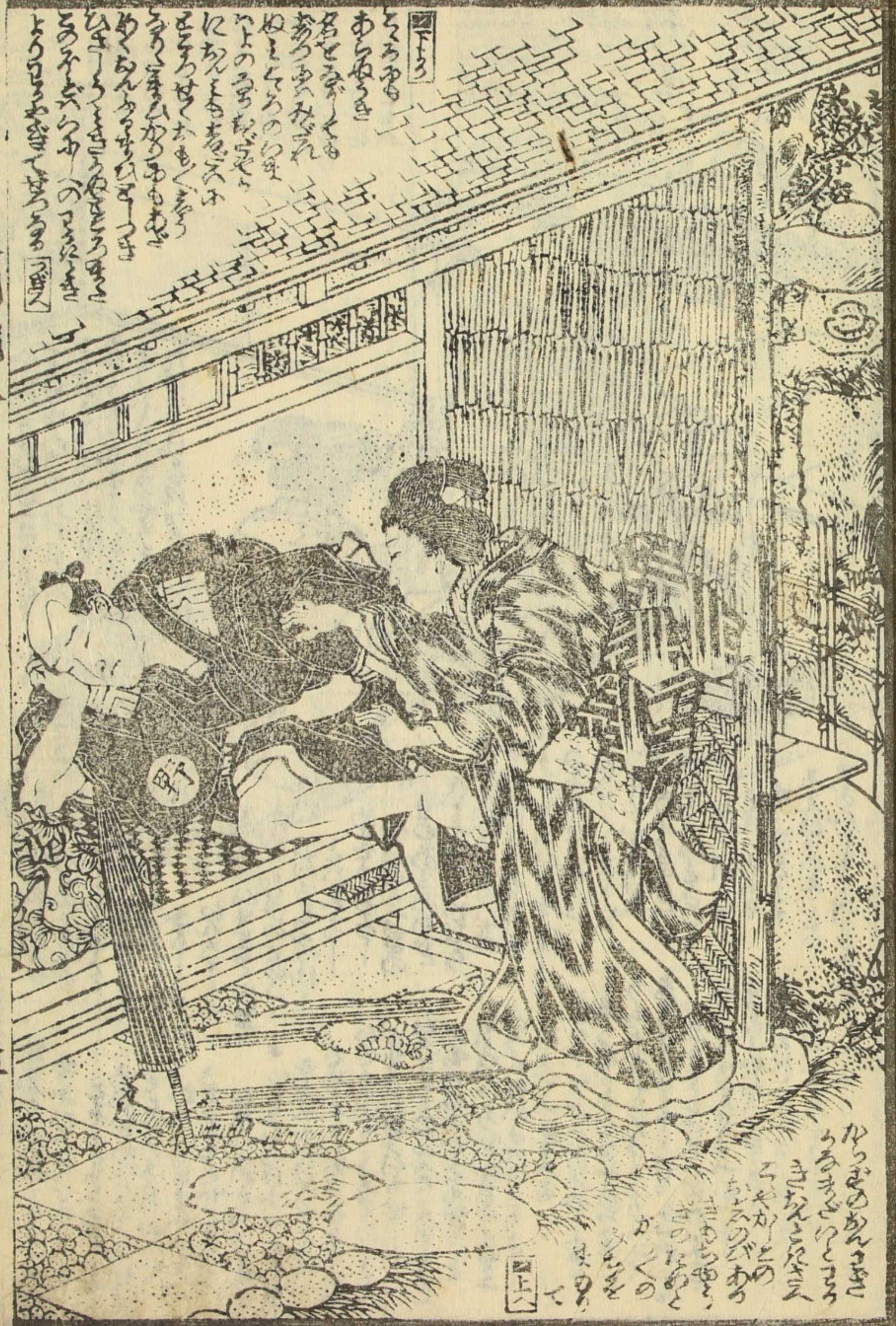


あつちのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな
うらなはのうらなはのうらな

るにありてはかたしけりしるもあはれなるもあ
れどもあはれなるもあはれなるもあはれなるもあ
石たうまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
まゆしきかたのれりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ



かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ



かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ

かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ
かたのまきまはれてよめりしるもあはれなるもあ

大正 卯辰

○小酌の
さだめを
なすに
あつて
はるかに
あつた
おもしろ
くおも
うるに
あつた
あつた

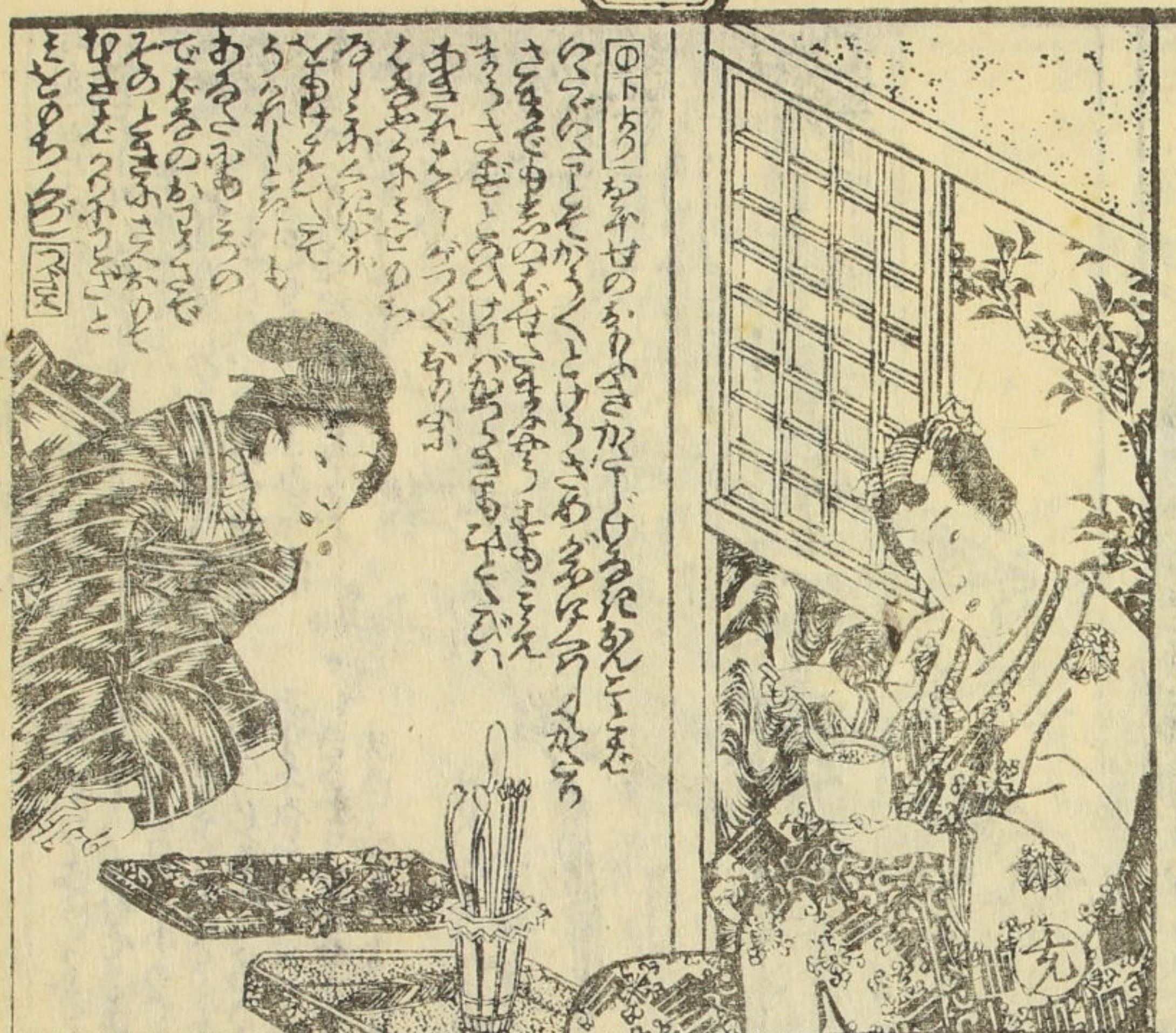


あつたの
おもしろ
くおも
うるに
あつた
あつた

あつたの
おもしろ
くおも
うるに
あつた
あつた

あつたの
おもしろ
くおも
うるに
あつた
あつた

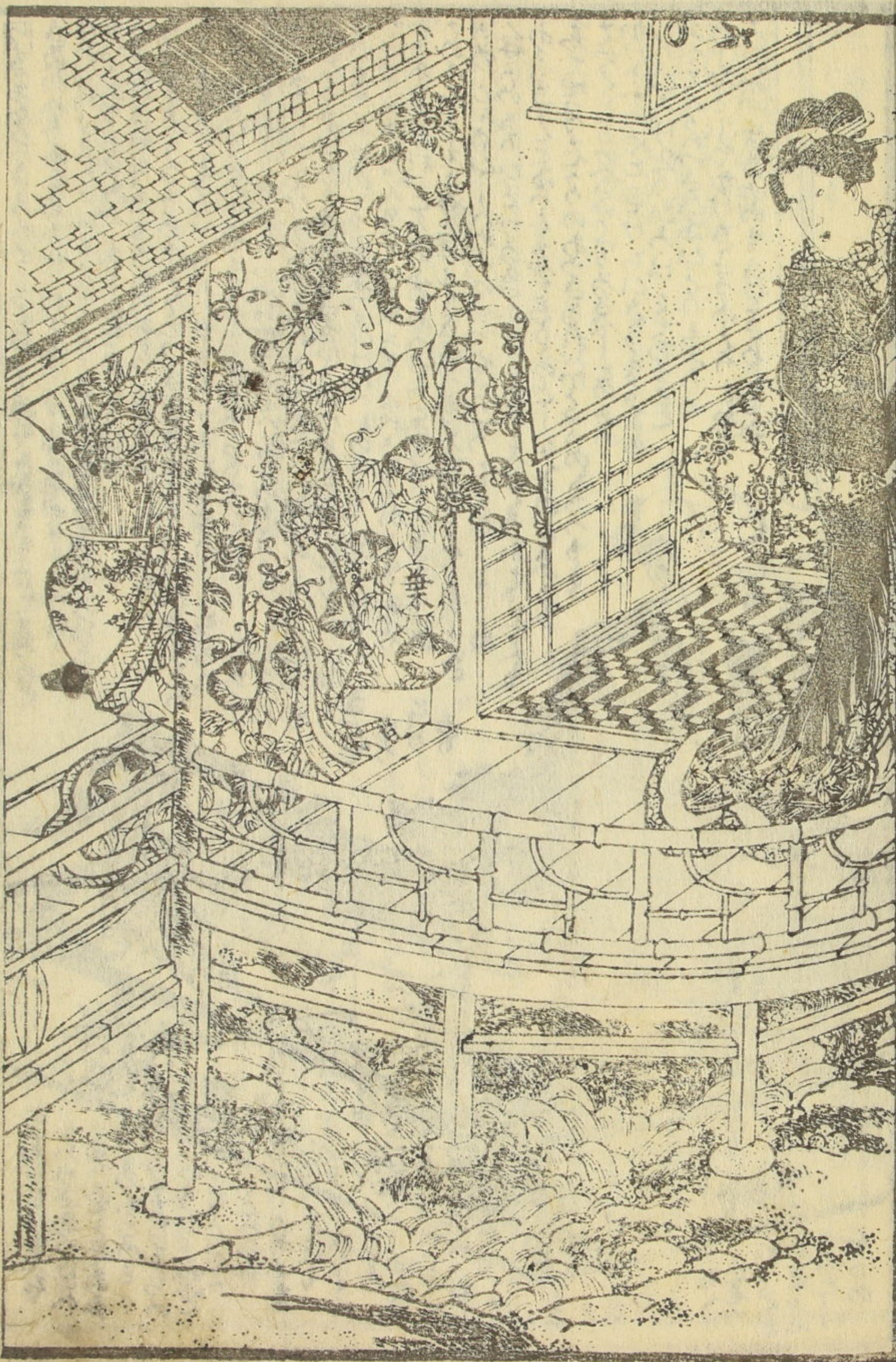
二



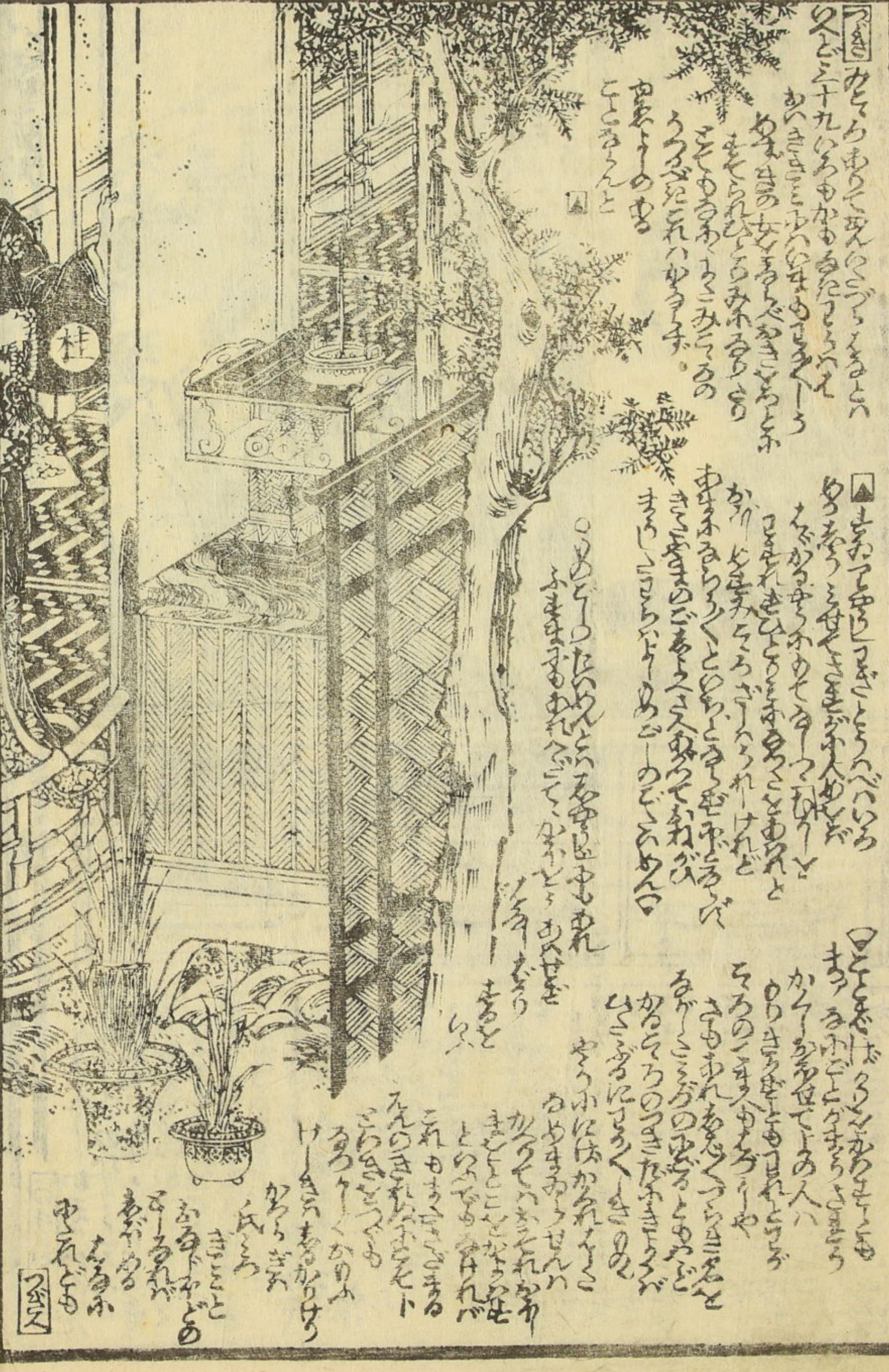
○小酌の
さだめを
なすに
あつて
はるかに
あつた
おもしろ
くおも
うるに
あつた
あつた



あつたの
おもしろ
くおも
うるに
あつた
あつた



尾月



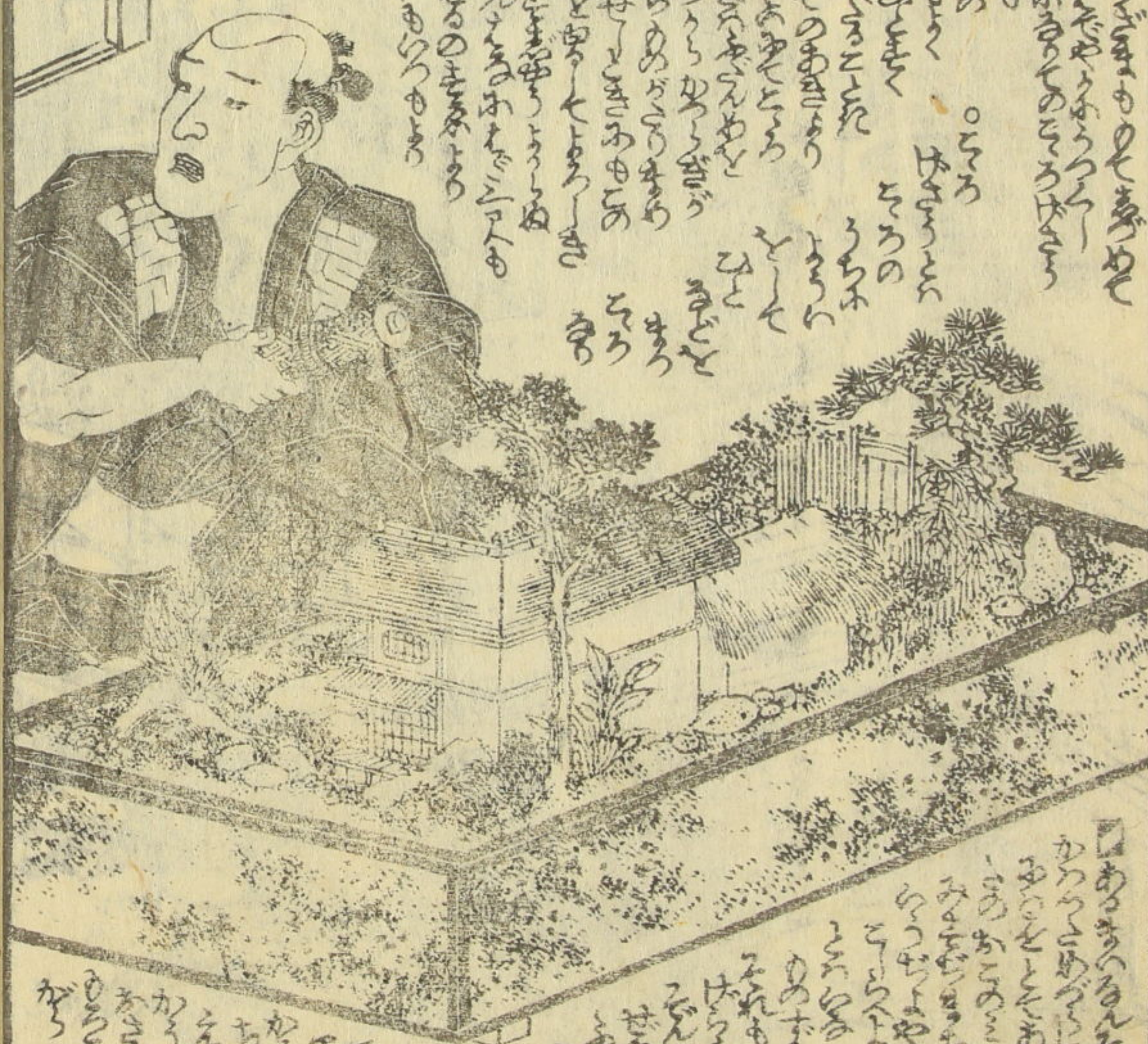
ついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては

またありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては

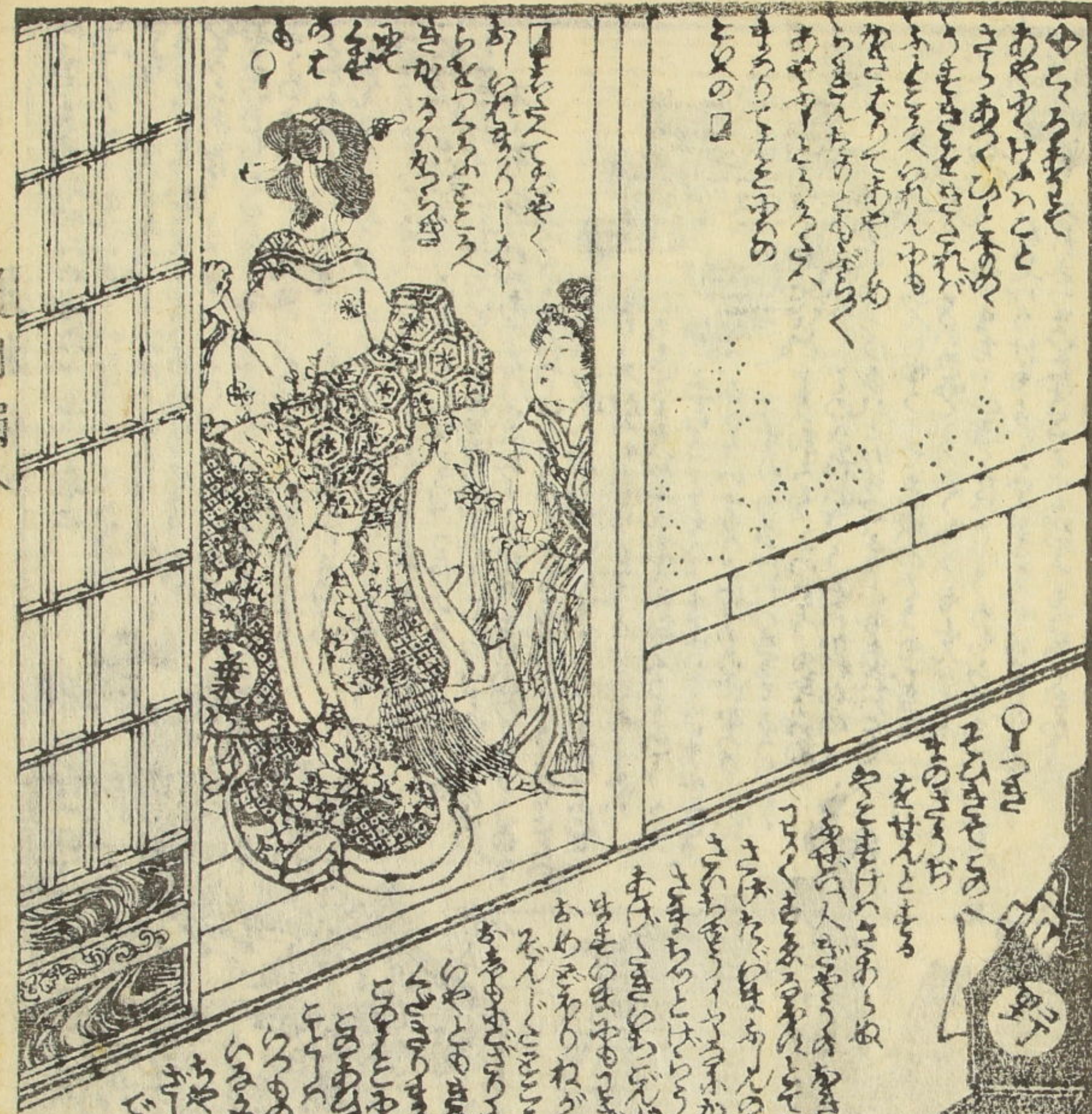
またありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては
 又のついでにありては

ついで

此の物語は、昔の事だ。ある時、ある村に、
 一人の若者が、山へ出て、木を切りに出た。
 すると、山の中へ入ると、不思議な光景が
 見えた。そこには、美しい女が、花を
 摘んで、籠に入れていた。若者は、その
 女を見て、心をとらわれた。女は、若者
 を呼びよせ、山の上へ連れて行った。



女は、若者に、山の上には、
 神様が住んでおられると告げた。
 若者は、神様の御心を
 敬い、山の上へ上り、神様の
 御前に参り、お祈りをした。



すると、神様は、若者の
 御心を喜び、若者に、山の上
 へお祈りをした。すると、
 神様は、若者に、山の上へ
 参らせ、お祈りをした。

若者は、神様の御心を
 敬い、山の上へ上り、神様の
 御前に参り、お祈りをした。

笠亭仙果作
一陽齋豊國画

笠亭仙果作の御江戸昌平町鑑
 一陽齋豊國画の御江戸昌平町鑑
 笠亭仙果作の御江戸昌平町鑑
 一陽齋豊國画の御江戸昌平町鑑



清書
 金川
 谷
 画

新刻 校正 御江戸昌平町鑑

朱字細註 横本
 全二冊出版
 半紙摺 薄用摺

教訓浮世めがね 全三冊

万亭應賀作
 溪齋英泉画

兩筋戀は山道 全二冊

万亭應賀作
 一勇齋國芳画

勸善懲惡 衆合噺 七編 八編

柳下亭種員作
 一陽齋豊國画

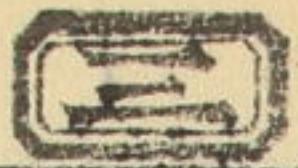
刊行書肆

東都

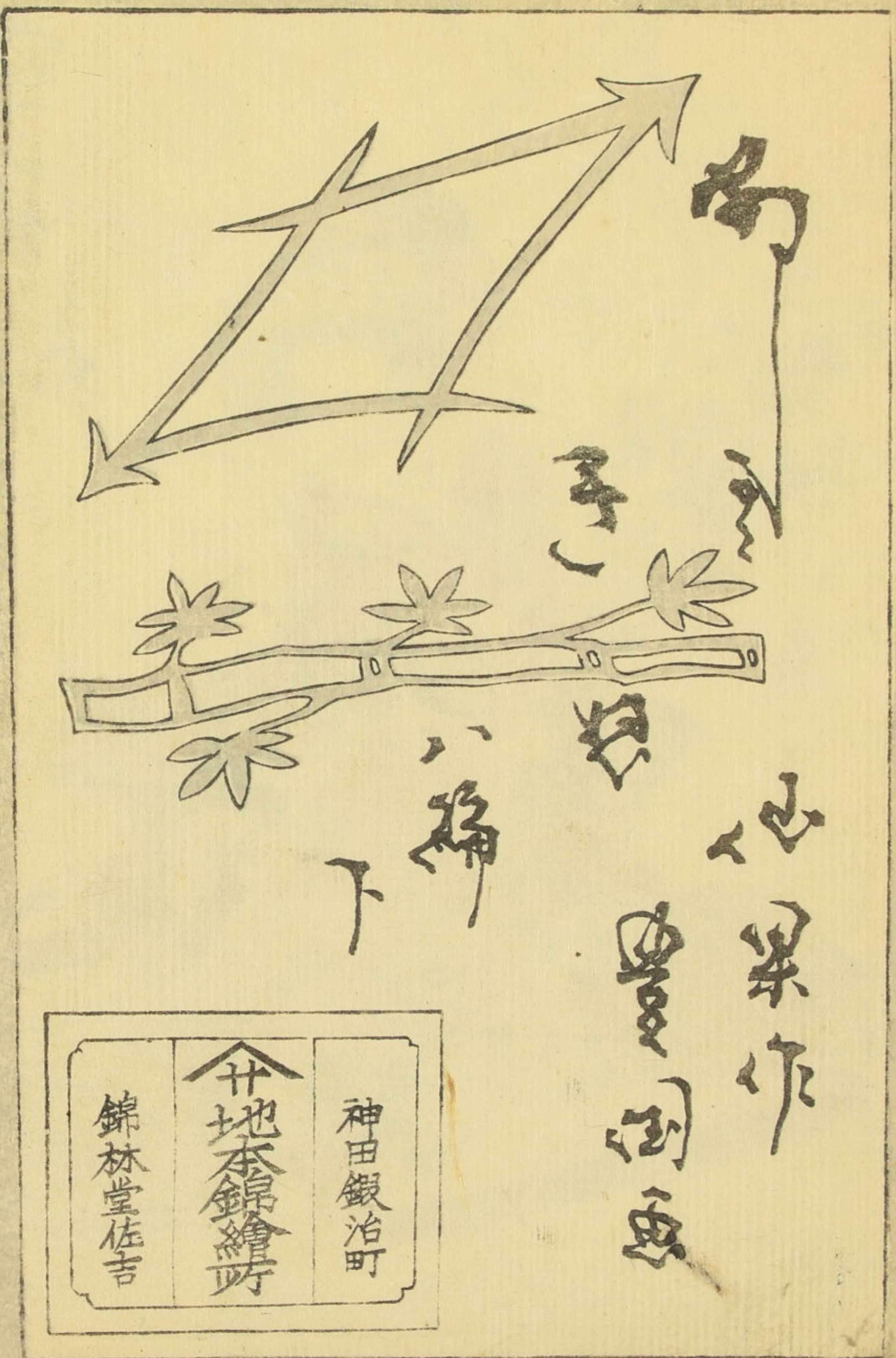
錦林堂

嘉永四年新年彫

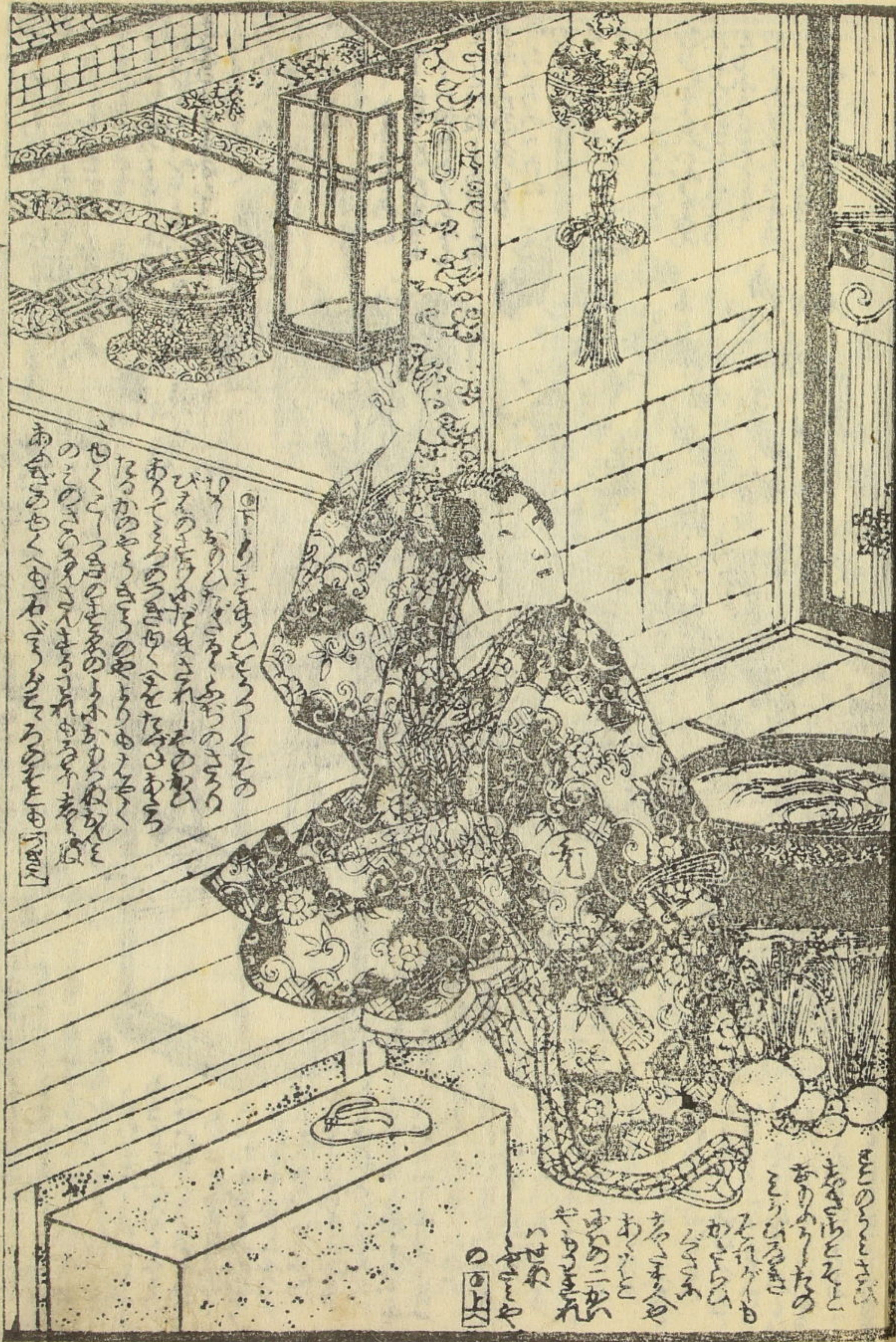




錦林堂佐吉
 神田銀治町
 下
 八編
 心果作
 量
 何
 子
 下

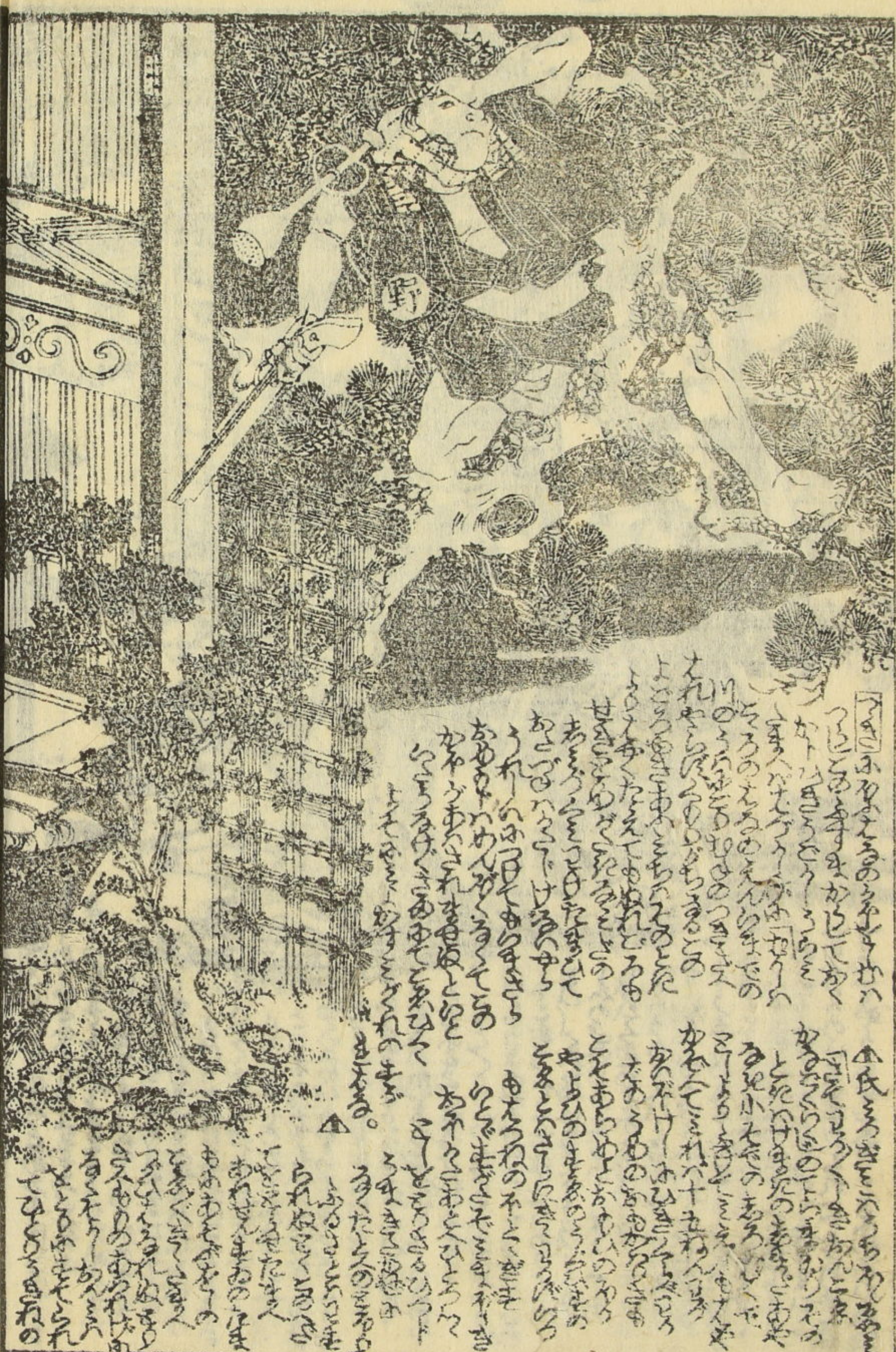


神田銀治町
 下地本錦繪所
 錦林堂佐吉



あはれなる御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候

あはれなる御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候



あはれなる御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候

あはれなる御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候
おぼつかたき御座り候

足利権八

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary. The text is written in a cursive style and is interspersed with illustrations of figures and objects.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary. The text is written in a cursive style and is interspersed with illustrations of figures and objects.





あまのりんご...
あんのりのめ...
らせ...
せられた...
あまのりんご...
あんのりのめ...
らせ...
せられた...

あまのりんご...
あんのりのめ...
らせ...
せられた...
あまのりんご...
あんのりのめ...
らせ...
せられた...



あまのりんご...
あんのりのめ...
らせ...
せられた...
あまのりんご...
あんのりのめ...
らせ...
せられた...





吉野の御

足利解

保

仙果作

丸

皇田

大田

見が花は... 二見... 二見... 二見... 二見...
 一見... 一期... 一期... 一期... 一期...
 色へ... 色へ... 色へ... 色へ... 色へ...
 る人... る人... る人... る人... る人...

辛夷立春

笠亭仙果





藤の方昇天の期あり
 四十の御代りしせしむ

足利將軍源義植公御母



御臺
 榊頭

のり



○ありあひゆあのおんりのい
 さまらあの中へいよ
 あいあひあひあひ
 十丁
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十

ありあひゆあのおんりのい
 さまらあの中へいよ
 あいあひあひあひ
 十丁
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十



ありあひゆあのおんりのい
 さまらあの中へいよ
 あいあひあひあひ
 十丁
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十

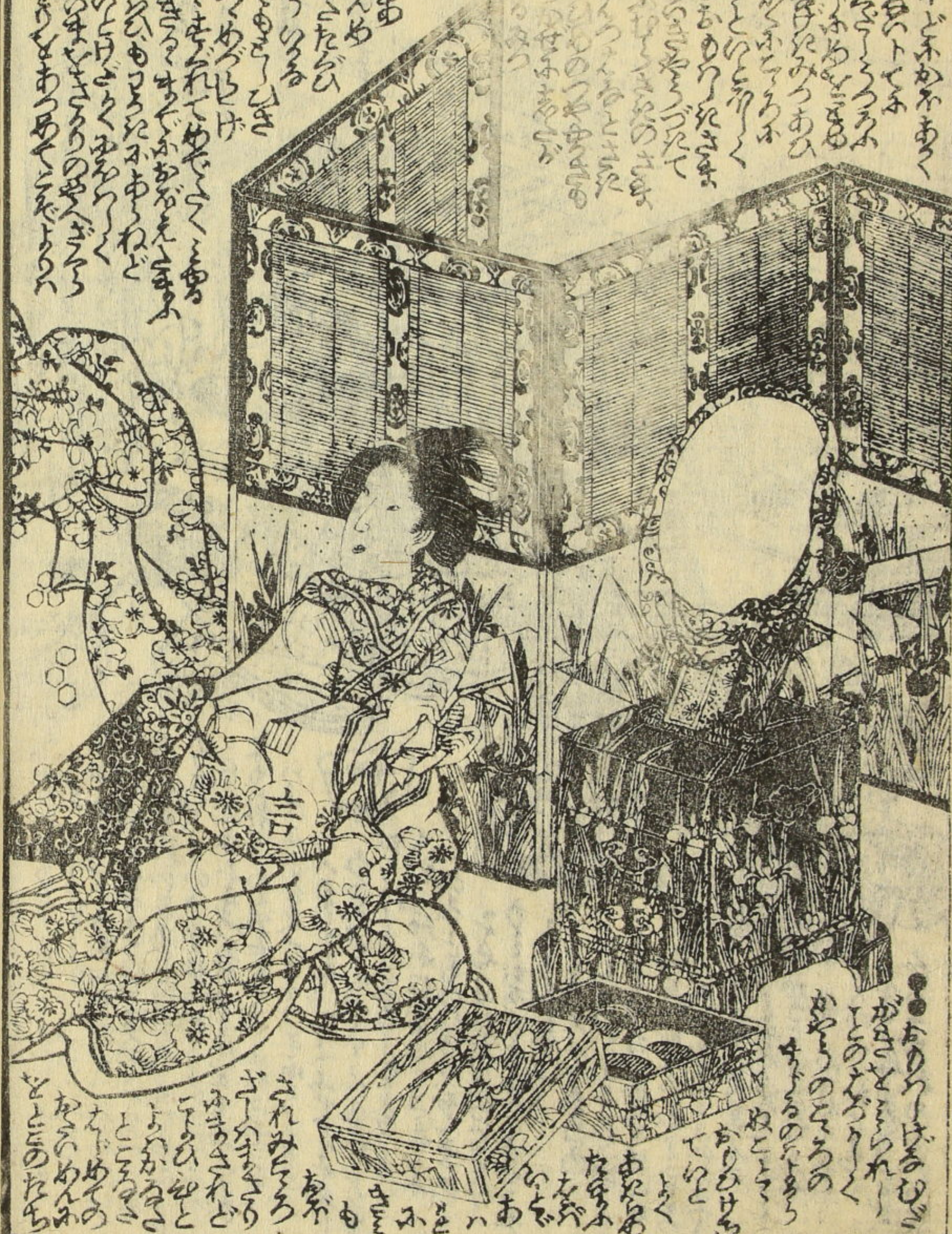
ありあひゆあのおんりのい
 さまらあの中へいよ
 あいあひあひあひ
 十丁
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十

これより左の女は...
右の女は...
茶の器...
井...
津...
...

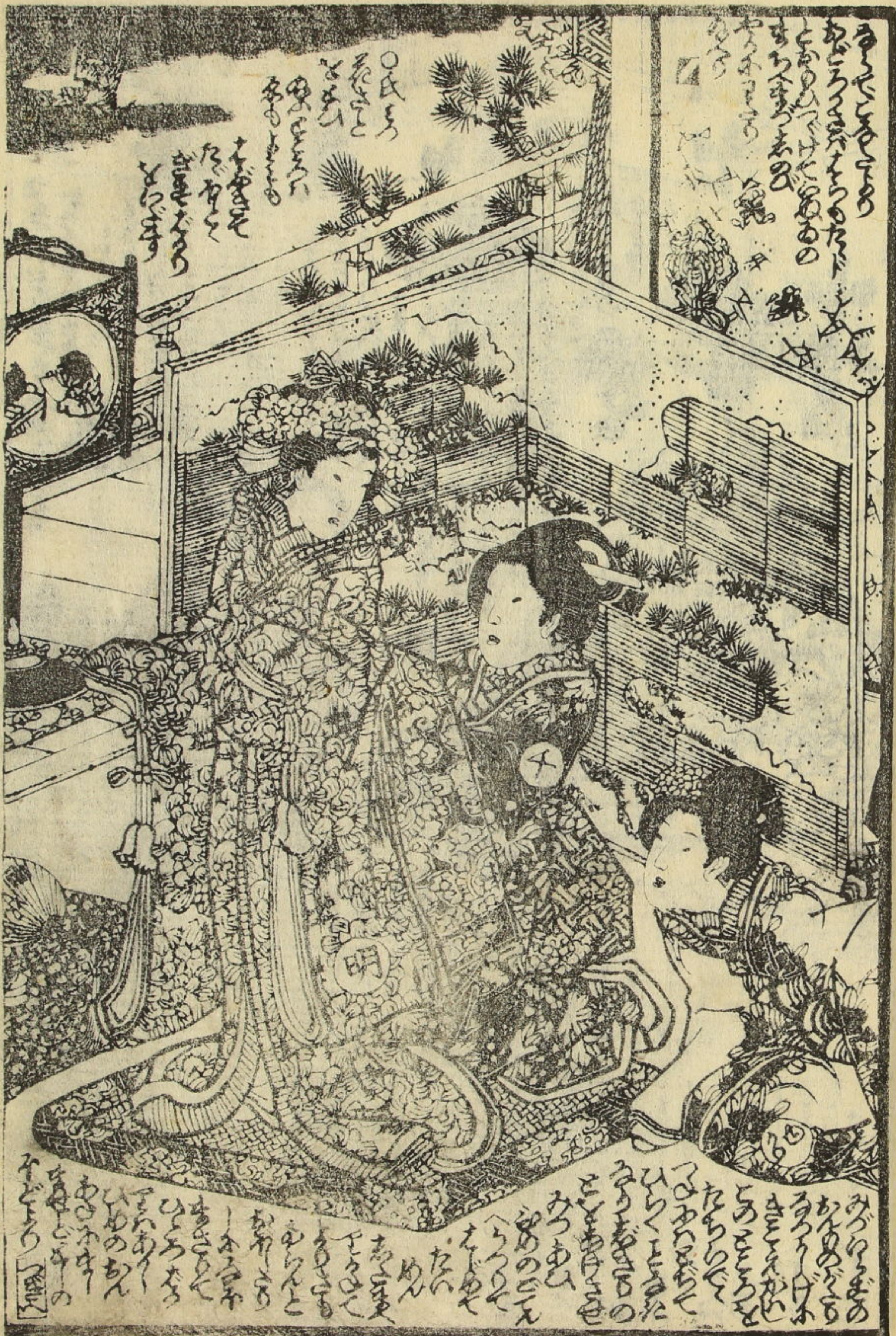


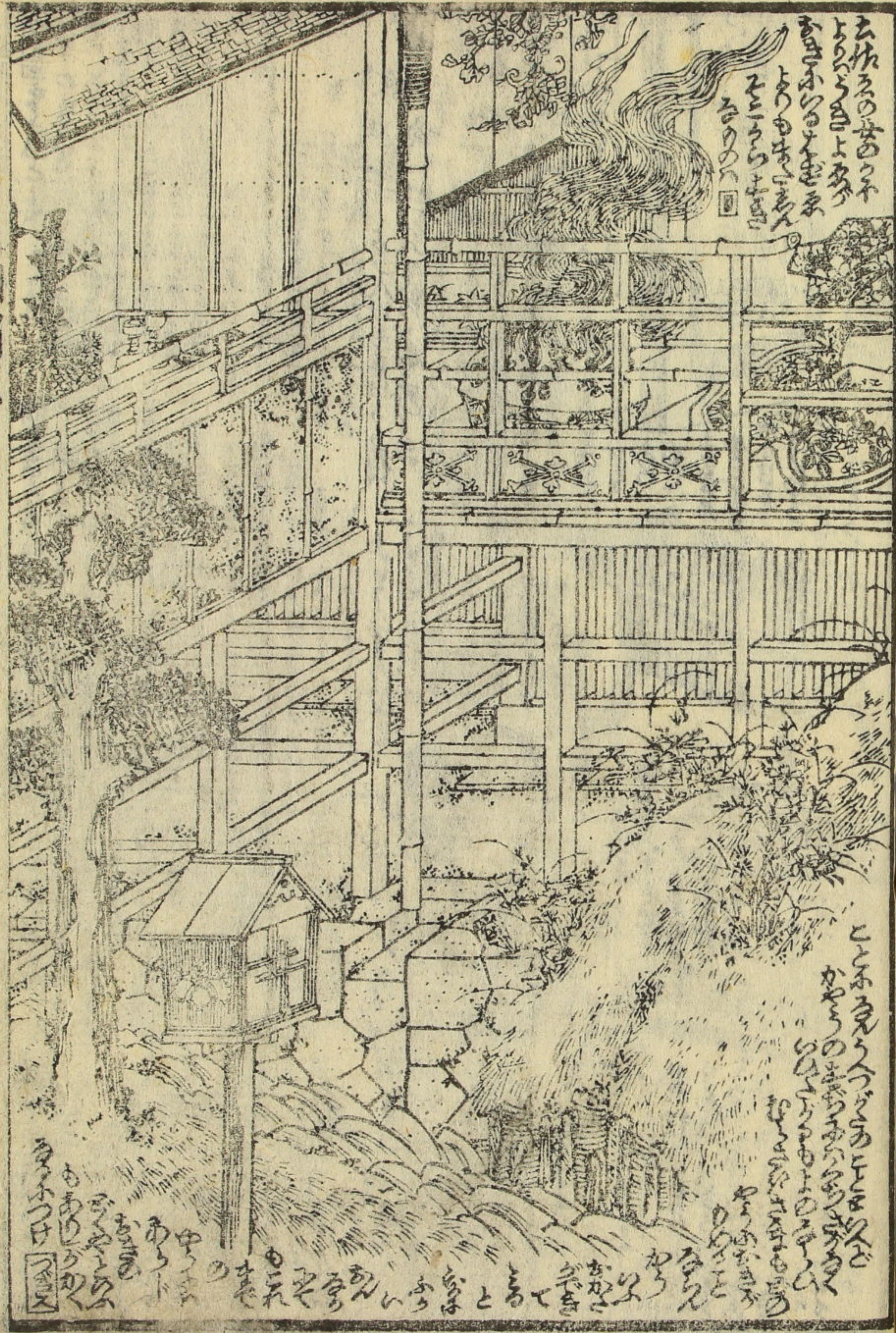
...

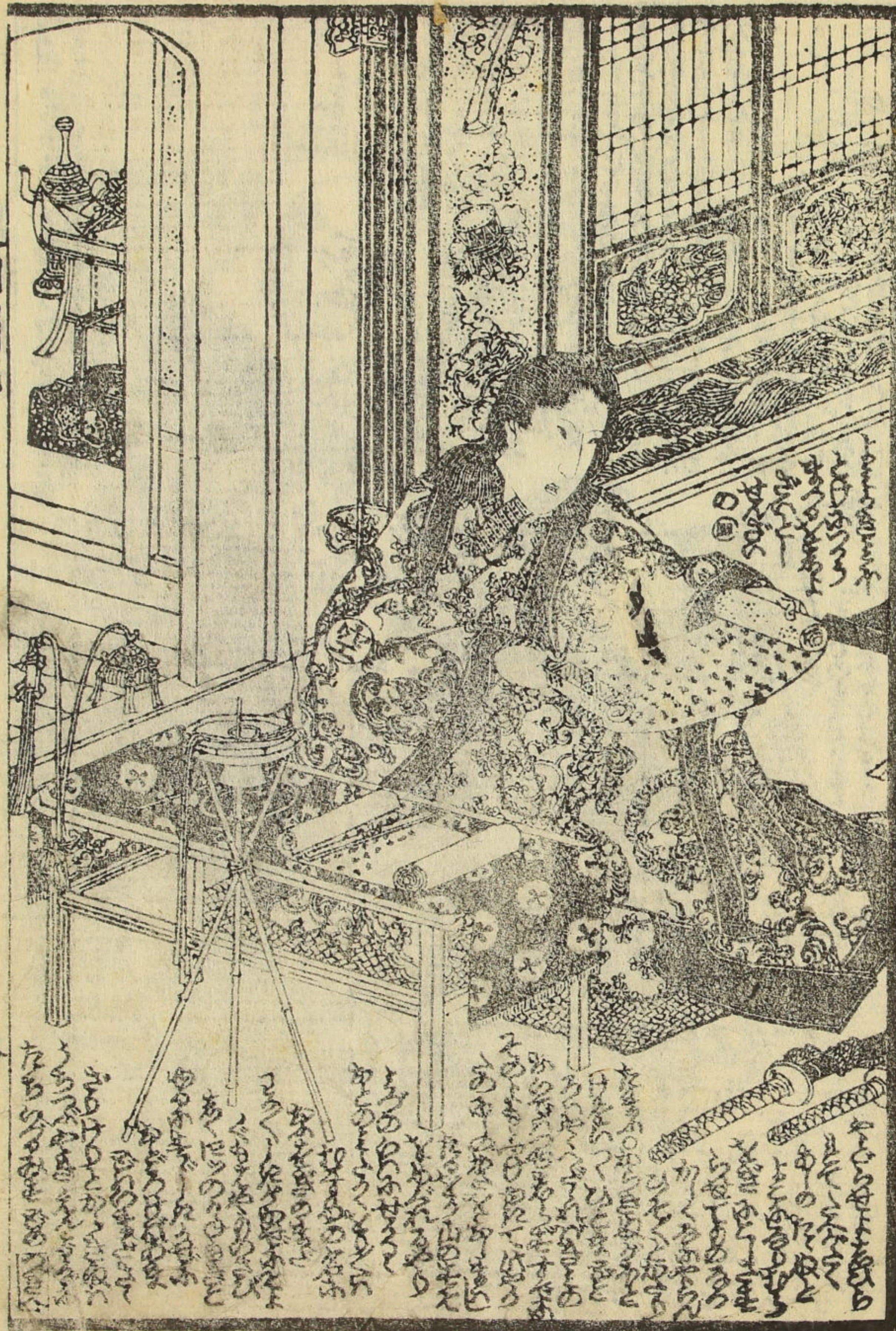
...



...



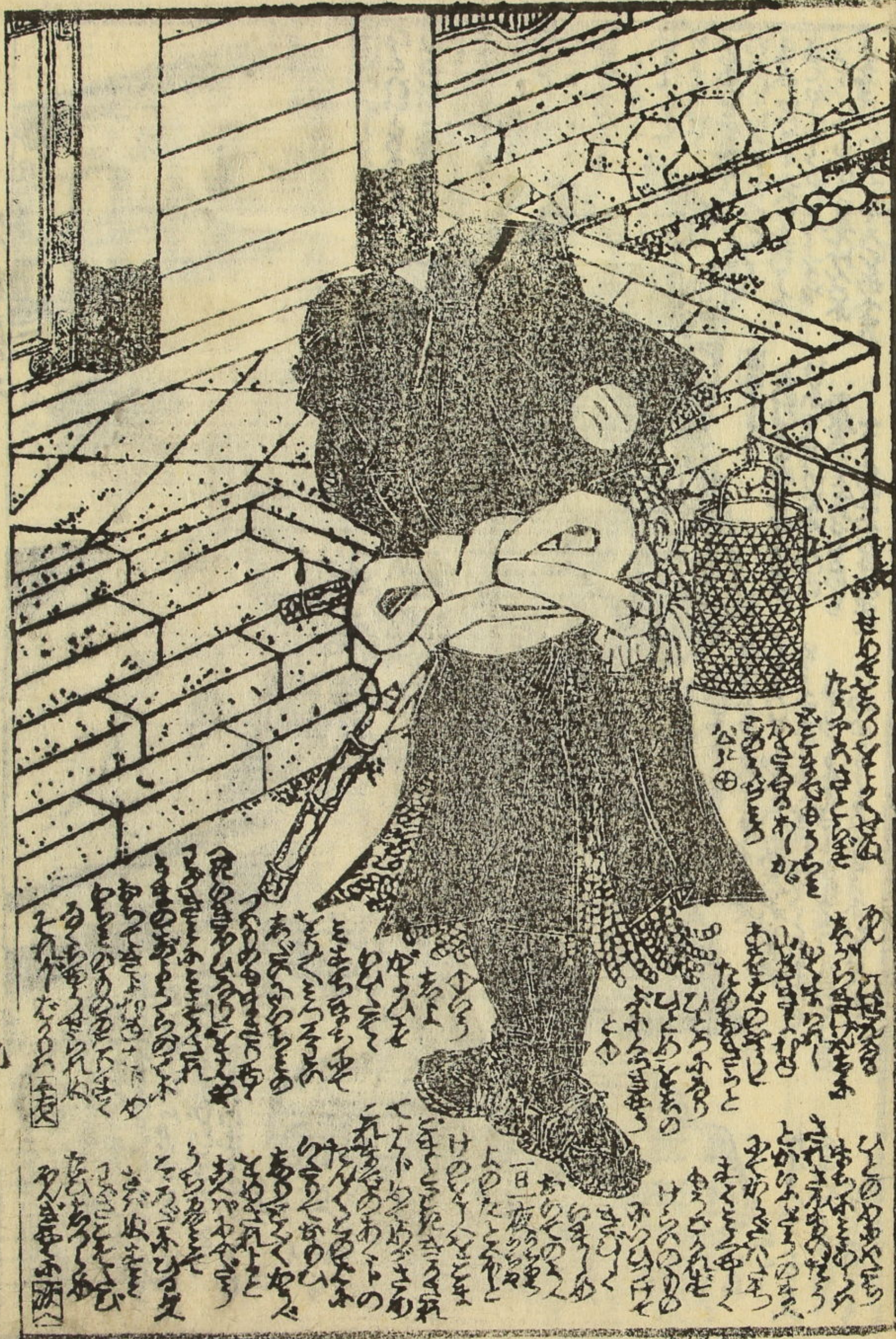




二二二



二二二



五十二

Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustration. The text includes various characters and symbols, likely a commentary or a list of items related to the scene.



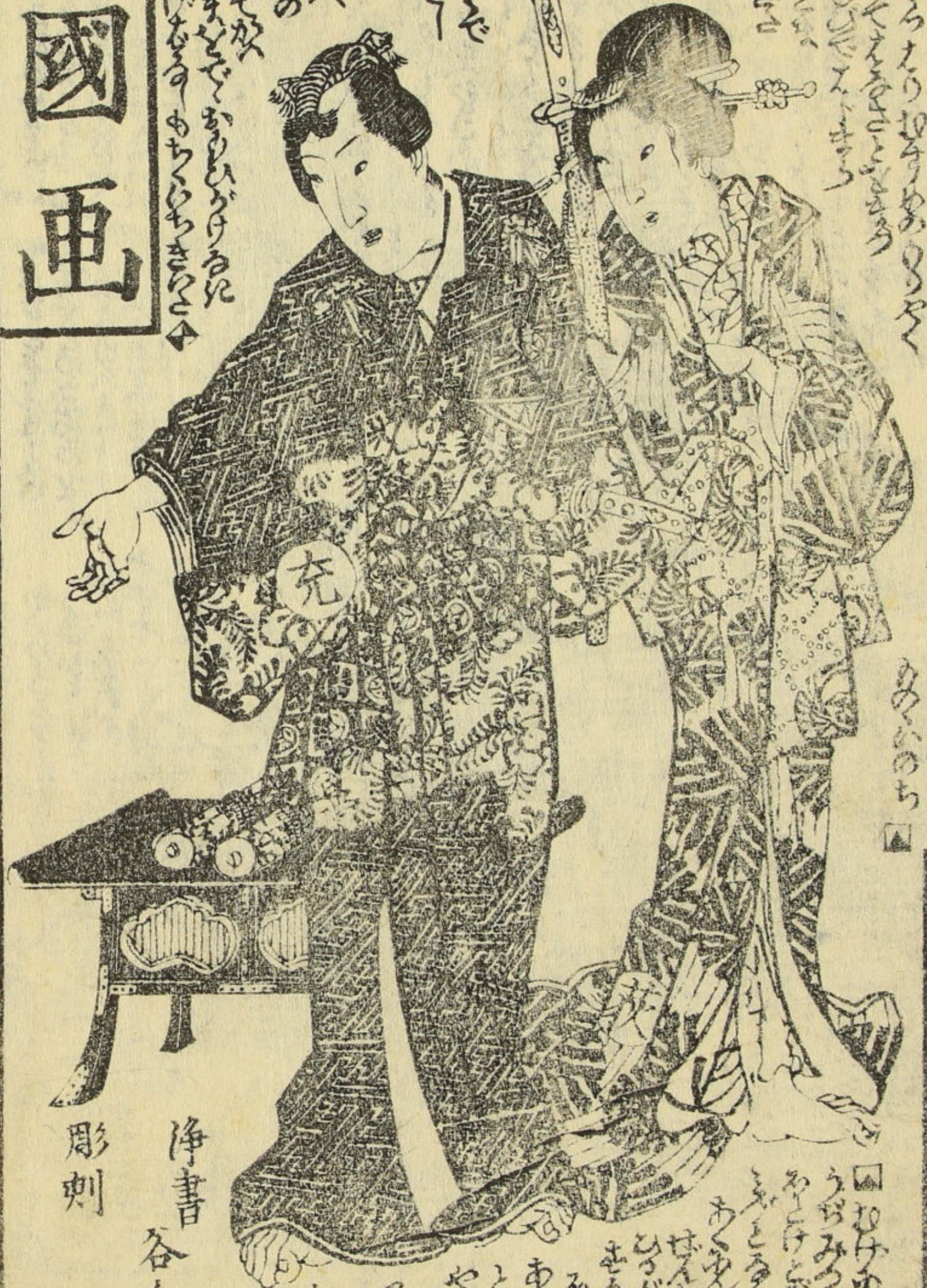
五十三

Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustration. The text includes various characters and symbols, likely a commentary or a list of items related to the scene.



新刻御江戸昌平町鑑

豊國画



仙果作

仙果作の御江戸昌平町鑑は、江戸の風俗を写し、人情を述べ、世を諷刺する名作也。其の筆致は、簡潔明快、人物の表情は、生動自然、見る者に、如くも、臨んで居るやうな感を得る。其の描いたる、御江戸の町並、昌平町の様子、は、實に、江戸の歴史を、生々しく、伝へて居る。其の描いたる、人情の世、は、實に、世の人心を、打つて居る。其の描いたる、諷刺の筆、は、實に、世の人心を、醒まして居る。其の描いたる、人情の世、は、實に、世の人心を、打つて居る。其の描いたる、諷刺の筆、は、實に、世の人心を、醒まして居る。

彫刺 浄書 谷金川

新刻 校正 御江戸昌平町鑑

宋字細註 横本 全二冊出版 半紙摺薄用摺

教訓浮世めがね 全三冊

万亭應賀作 漢齋英泉画

兩筋戀山道 全二冊

万亭應賀作 一勇齋國芳画

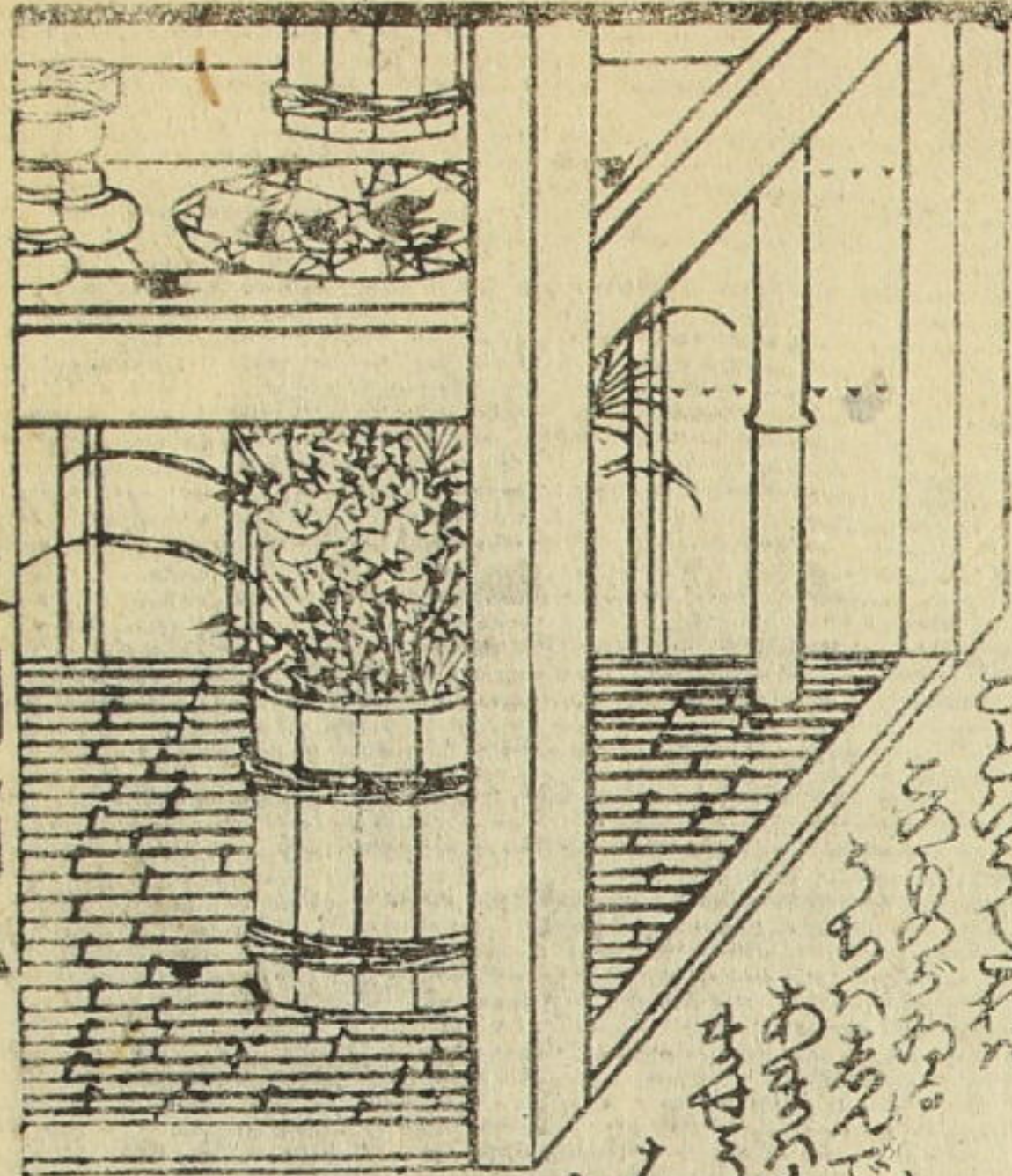
亀鑑浦嶋草紙 初編

笠亭仙果校合 柳齋琴繫作 錦朝楼芳虎画

嘉永五年新彫

刊行書肆 東都 錦林堂





Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a preface or introductory notes.

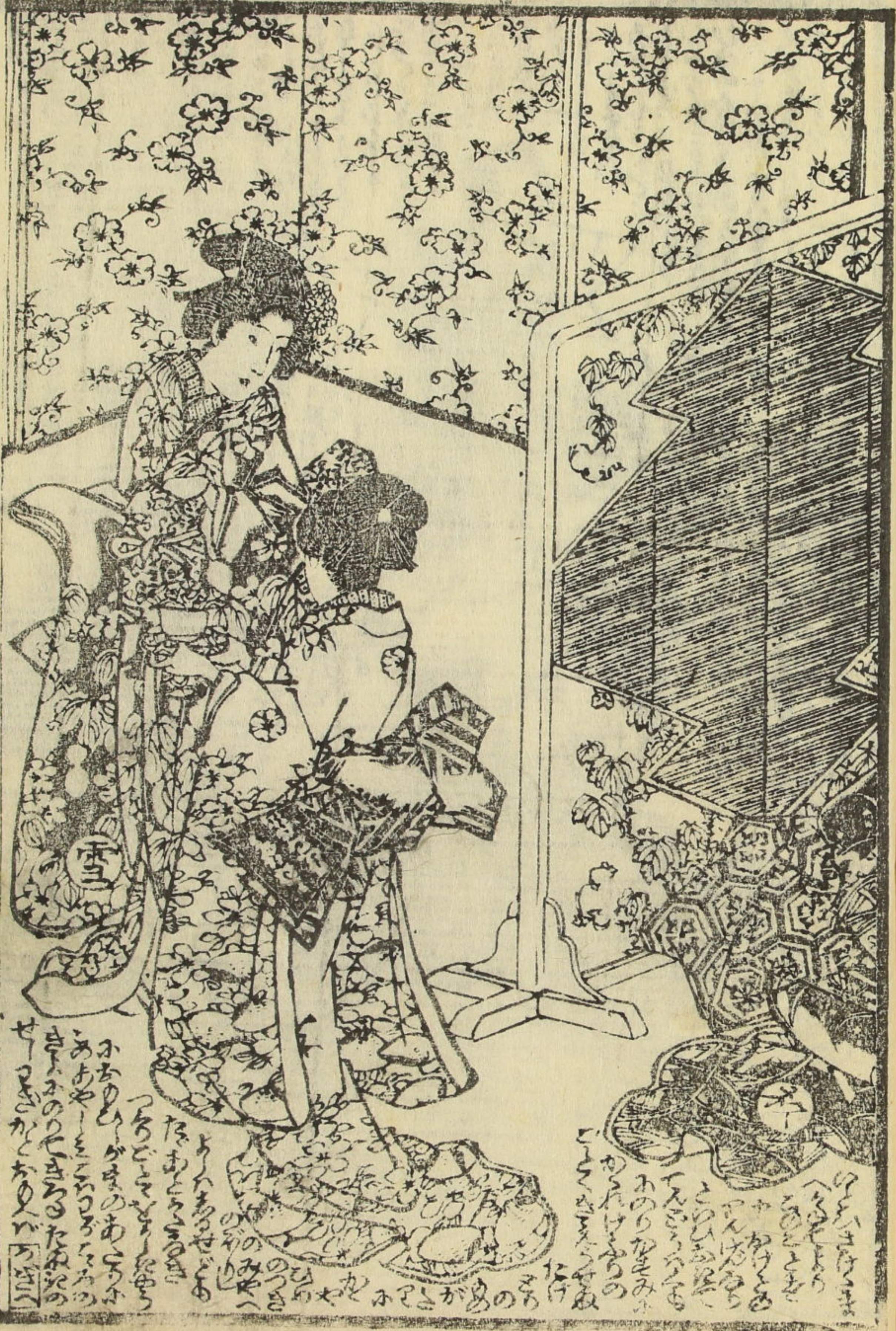


Vertical handwritten text on the left side of the illustration.

Vertical handwritten text on the right side of the illustration.

Large decorative page with a light blue background and a dark border. The page features several elements:

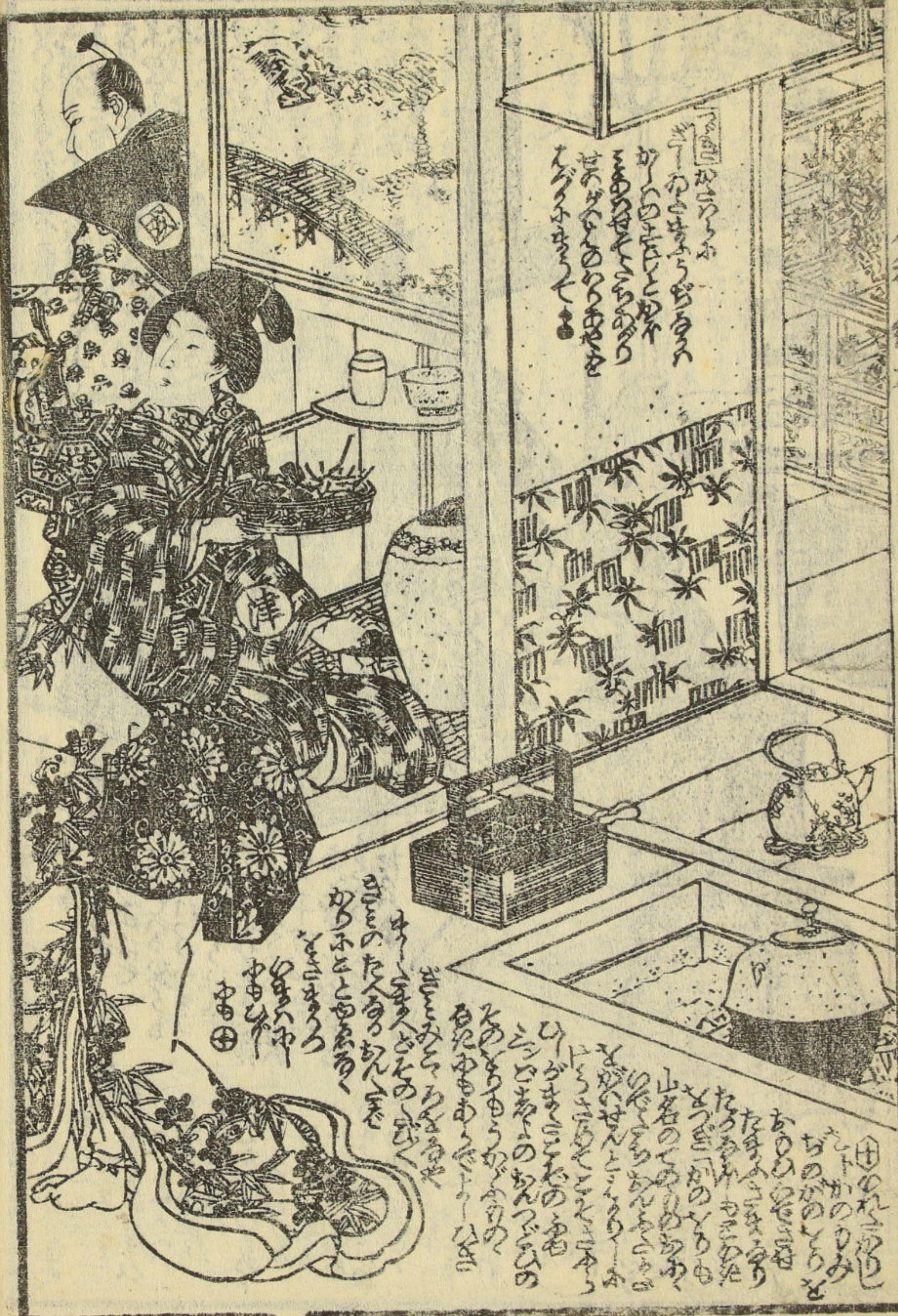
- Top Left:** A vertical title in large characters: **おしな** (Oshina).
- Top Right:** A circular illustration of a basket filled with flowers and a willow branch.
- Center:** A large, stylized diamond-shaped character, possibly a decorative '寿' (Longevity) or a specific character.
- Right Side:** Vertical text: **仙果伝** (Senkwa Den) and **豊川** (Toyokawa).
- Bottom Right:** An illustration of a crossed sword and a branch of flowers.
- Bottom Left:** Vertical text: **神皇正統記** (Shinkō Shūrei).
- Bottom Center:** Vertical text: **長生** (Chōsei).



月夜

五月二十





あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの

あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの

あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの



あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの

あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの



あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの

あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの

あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの
あつてまはるの

笠亭仙果作
一陽齋豊国画

つぎる小とてそととら
たるかひごりたかきま
てぬあひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと
あひひけるまこと



足利絹千染紫

○十編より十四編まで 當子春發兌若菜の上第十編にて
今くより十三編より同下ゆきとあひぬれぬる
えん人権の極よをかきあさせの草命免は右子下紙大寄口

極彩色 何れかごぬ染上の大雙六

これらむきさたのゆりゆき芳蔭画よて徳造仕は洋判りく
やみくりのゆきあひひてき希しや

山崎東 奇談
婀娜櫻 種吉作
芳席画

東都神田鍛冶町二丁目
太田屋佐吉謹白

浄書
谷金川

全十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十



法野大



花月夜
九布

雨景

花月夜

花月夜

花月夜